

施政方針との予算説明

消防70万増、農畜140万減 歳入確保に御協力

歳入確保に御協力乞う

入確保に御協力乞う

40万減

しかしながら町村事業の遂行は常に四面の状勢の推移と住民意志を尊重し、積極政策の内にも後を省みてその結果を吟味し、さらに、それ等の事実を基礎にして、次に準備する力を培養するの要がある以上のことにして予算はつぶめで縮小すると共に、あらゆる費用を節約削減し、将来的發展と健全財政確立のため、力の蓄積の年と存します。

予算の大綱について説明致します。

御承知の如く地方財政はいよいよ危機の段階に経過し、国においては遂に財政再建促進特別措置法を前言の通りの措置は目の急務であります。この中につけて予算の編成は経常費の編み入れにも苦慮致しましたのであります。

歳出

まず、出の面から申上げますと全般的に圧縮し、当初の予算規模を三八〇〇万円として、一応緊急策を要するものと、継続を要するもの、実施に重点を指向し、從来実施致して参ったものについては、極力これを大巾に取捨選択し、また新規事業は一応これを見送ることに致しました。すなわち消防関係の経費については、從来の火災の状況と、その結果を重視し、とくに今は省廳を払い、水槽の構築と、民間に対する施設補助を設けて昨年に比し、七二万九千円を増額致しました。

土木関係については事業を一点に集中合理化することにつとめ、新たに自動三輪車を購入し、主要幹線である、久慈線、半下石線真岡編入後の町道の砂利撒布の促進と地内の改良費五八八万八千円を具み、維持修繕については町道幹線に由り、常用工夫二名を専門に雇用することにしました。また事業については県道編入のため、志崎原、桜原、皆倉、松尾線笑喜地内

の各線をどこで補修するため、三五万円を見込み、これにより、道路橋梁費は三輪車購入費を含み二六三万四千円となり、昨年度予算より三三万円を減額致しました。この外山口海岸堤防雪籠旧費等三三一万三千円等を計上し、総額四九二万七千円となりました。

教育関係の経費については小学校の児童増員に伴い一応昨年並じ中学校費その他は約昨年の五分程度の減額に止め、教育委員会関係においてピアノ購入補助二〇万、映写機購入費二六万円を見込みました。なお高教移管関係についてはその整備計画年度は既に第三年目に当り、相当額を計上せねばならないであります。財政の状況は到底これを許すべくもなく併せての額を計上すべくもなく併せての額を計上せねばならないであります。

また産業経営費は從来相当額を計上して参つたのであります。が、町産業五ヶ年計画の終了と共に、その実績を検討し、さらに計画を新する要があり、大巾にこれを削減し、たゞ産業の振興を計る手段の下に歟医を採用することにして、計上して二三三万四千円を計上することにしたわけであります。

従前よりの懸案であつた畜産対策に努めるよう致しました。

その他農業の面に於いては水陸稲の早期栽培を奨成指導し、これによる農業経営の更新企画することにしました。以上の施策の下に農業畜産費は昨年度二一〇万一千円に対し、一四一萬四千円を大巾に減額し、六八万六千円を計上致してあります。なお本年度は特に水産業者に対しては海草の養殖を奨励し、この補助としてとくに一〇〇万円を具込みました。また一財産の造成はごく必要とするところであり、本年度で約八町六

一町六分の下払はその適正化と、完全な下払いを行ふ為全人夫を使用して実施致すことにし、財津費はとくに三五万五千円を増額すること

とにしました。また公債費は終後の学制改革による中学校の整備費、港湾の修繕費、住宅の建築費、災害復旧費と相次ぐ自己を得な事業のため、起債を致しております。本年度償還は元利合して三四二千八百円と大巾に増えておりました。今後の起債については相当に考へておると云うものゝ起債は今や町町会を要すると思はれ、災害復旧費の償還については一円につき五錢程度の地方交付税がみられることの大きな負荷となつておりますが、この償還にはどうに意を用いたべく、國家の方針に併し、相当な緊縮要求される反面、反対給付のな國庫委任事務も多く、加へて諸行政の法令外負担も依然として相当の削減を計つつもりであります。以上才出予算の主なものについての抑制には今後とも力を入れねばならないと考えております。

昭和31年度歳入歳出別予算表					
歳 入			歳 出		
費 用 目	予算額	比 率	費 用 目	予算額	比 率
1 町 税	15,889,000	38.10	1 議 会 費	1,366,948	3.28
2 地 方 交 付 税	12,500,000	29.97	2 会 場 費	10,792,713	25.88
3 公 営 企 業 財 産 収 入	4,089,581	9.80	3 防 木 費	1,634,000	3.90
4 分 担 金 負 担 金	120,000	0.03	4 土 壟 費	4,927,310	11.82
5 夫 役 現 品	2	0.01	5 教 育 費	8,942,177	21.45
6 使 用 料 手 数 料	1,466,066	3.76	6 保 健 費	3,154,980	7.57
7 国 庫 支 出 金	4,651,298	12.55	7 会 員 費	505,113	1.21
8 県 庫 支 出 金	661,720	1.60	8 保 譲 費	2,835,135	6.80
9 寄 繩 附 越 支 金	245,003	0.59	9 経 費	2,711,850	6.50
10 雜 町 入 決	50,000	0.12	10 財 稽 計	61,338	0.15
11 町 入 決	628,175	1.50	11 稽 計	199,670	0.48
12 合 計	1,400,000	3.61	12 予 計	3,572,653	8.57
			13 予 計	896,958	2.15
			14 予 計	100,000	0.24
			合 計	41,700,845	100.00

△濃厚飼料の配合と給与量
配合例一(重量比)
ヒヨウ麦二〇、ツスマ(又名
カ)三〇、大豆カス二五、黄
ウモロコシ二五、コロイカル
塙一
配合例二
フスマ五〇、大豆粕二〇、青
コロイカル二 塙一
これを一日当り大体次のよ
うに下さり。
生後 三ヶ月 牝 牝 牝
三四ヶ月 二〇ヶ月 三ヶ月
四ヶ月 五ヶ月 二六ヶ月 二八
料(△)水陸地
1、災害を免れるため、でき
け早期栽培にさしかかるこ
と日本への将来」と題する講演
十一時より大根占小学校講堂
県立川辺郡久志出身、世界
育者として有名な玉川大学々
原国芳氏を招き「世界教育の
と日本への将来」と題する講演
開いた、聴衆三百
時半間に亘る聴衆が完結した
事として例年開設する
町公民館活動の主事
事として例年開設する
三十年度青年学級
年度も昨年七月より
遅一回実施されていたが去る
二十四日を以つて講演が完了した
の各校区分館でそれぞれ閉講式
を挙げた。
大根占校区閉講式も二十四日午
前より来賓諸君多数を迎えて
大に閉講式を挙げた、受賞者次
通り、公民館員賞
吉元さえ子 大田中増夫
山中和子 福岡彰之
貴島隆敏
脇田耕一

◎三年度の評価について
平均価格は前年と変りませ
端数引上げなどで額が少
くなった分もあり、また評
公平になるよう修正増額に
たものがあります。

◎二月末日までに登記のす
のは新しい所有者の分に評
価あります。

◎賃貸手数料は、今までは、
う畠町二一~三瓦、反当四〇〇
株内外とする。

は四月三十日まで
後附加徵收されていましたが、
今年から晉足状が發行された日
から徵收されます。
◎自転車の無鍵札がまだあります
必ず標識をつけましょう。

早期栽培の種まき
水稻早期栽培の播種は、神川、山
之口両地区とも、三月二十五日か
ら二十七日にかけて行われ、順調
な成育ぶりをみせ、こよ二三日中
に保温紙を除去するところまでな
っています。春とは云へ、川の水
はまだなかなか冷いのですが、初
めての試みに栽培者は熱心に作業
を行っています。

お知らせ

◎四月分の配給割合

内地米九日 準内地米二日

希望配給は内地米三日

普通外米はいくらでも配給を受
けることが出来ます。希望者は
役場へ申出て、割当を受けて下
さい。

◎手数料が値上げされます
四月一日から諸手数料が次のよ
うに改正されました。()は
元の金額

1.資産證明 五〇円(四〇円)
2.事実證明、身元證明 印かん証
明など 四〇円(三〇円)

3.公簿、公文書、図面などの謄抄
本交付手数料(戸籍關係を除く)
一四〇円(三〇円)

◎町営茶工場は二十八日から製造
を始めます。

1.今年から生葉は一等から三等ま
で等級をつけます。若芽をつけ
木莖が入らないよう気をつけ、
一時間でも早く工場へ運びま
す。

2.委託加工、自家用茶も全部茶工
場へ委託しましよう

◎早期栽培用陸稻穀子の配付
播種適期は十五日から二十日でろ
まで、播種量は反当四、五升、種
子は申込者に限り九日に部落長を
通じて配付します、価格は一升約
八〇円の見込(運賃別)栽培法は
朝報三号を参照のこと。

昭和31年度歳入歳出歎別予算表

歳 入			歳 出		
費 用 目	予算額	比 率	費 用 目	予算額	比 率
1 町 税	15,889,000	38.10	1 議 役 費	1,366,948	3.28
2 地 方 交 付 税	12,500,000	29.97	2 会 場 費	10,792,713	25.88
3 公 営 企 業 財 産 収 入	4,089,581	9.80	3 防 消 費	1,634,000	3.90
4 分 担 金 負 担 金	120,000	0.03	4 土 木 費	4,927,310	11.82
5 夫 役 現 品	2	0.01	5 教 育 費	8,942,177	21.45
6 使 用 料 手 数 料	1,466,066	3.76	6 会 社 及 び 事 務 費	3,154,980	7.57
7 國 庫 支 出 金	4,651,298	12.55	7 保 健 卫 生 費	505,113	1.21
8 県 支 出 金	661,720	1.60	8 工 业 經 濟 費	2,835,135	6.80
9 寄 費 金	245,003	0.59	9 財 産 費	2,711,850	6.50
10 繰 越 金	50,000	0.12	10 統 計 調 査 費	61,338	0.15
11 雜 収 入	628,175	1.50	11 選 挈 費	199,670	0.48
12 町 債	1,400,000	3.61	12 公 計 費	3,572,653	8.57
			13 諸 支 出 費	896,958	2.15
合 计	41,700,845	100.00	14 予 備 計 費	100,000	0.24
				41,700,845	100.00

公民館だより

時間半に亘る講究弁に多
大の感銘を受けた。
三十年度青年学級終
町公民館活動的主要行
事として例年開設され
る勤労青年の学習の場
である青年学級は三十
年度も昨年七月より毎

昭和二十八年四月丸野先生の後任として本町に御在来満三ヶ年に亘り大根占町教育長兼公民館長として勤務された大園宗一氏が、皆様に親愛された大園宗一氏の死を悼んで、大園教育長御榮転四月中映写日程

.....

出	比率
948	3.28
713	25.88
000	3.90
310	11.82
177	21.45
980	7.57
113	1.21
135	6.80
850	6.50
338	0.15
670	0.48
653	8.57
958	2.15
000	0.24
845	100.00

和牛の飼い方

自給肥料を一・五倍

自給肥料を一・五倍

◎麦類
水田裏作の横ガンギをやめ、

お知らせ



固定資産税第一期

十日まで